科目コード	記号	科　目　名		
8002	AK07	経営情報システム論：Management Information System		
教　員　名		木村　弘　：　KIMURA Hiroshi		
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	
1K	2・100分	選択	講義・後期	

授業概要	
	企業が競争優位を実現させるために目に見えない面でのシステムづくりに注目が集まっている。目に見えないシステムは、事業を展開する上でのインフラとして機能する大変に重要な役割を担うといわれる。本講義では、こうした事業システムの視点から企業経営を考察し、そこに情報技術がどのように活用され、どのような効果を創出しているのかを取り上げていく。

到　達　目　標	評　価　方　法
(1)事業システムの概念を理解している. (2)ITの活用による影響を理解している. (3)他企業の事業システムの考案ができる.	①定期試験80% ②レポート内容20%　とする。

学習・教育目標	(C)②	JABEE基準1(1)	(d)ー(1)

後　期

授業計画

回	項　目	内　容
第1	事業システム	事業システムの概念
第2	事業システムの設計	価値の提供、基本設計の概念
第3	事業システムの設計思想	コンセプトの地図、コンセプトのリファイン
第4	事業システムの設計原理	規模の経済、範囲の経済、速度の経済、集中化・外部化
第5	事業システムの理論的枠組み	分析方法、4つのアプローチ
第6	経済学的分析	取引コストアプローチ、ゲーム理論、
第7	社会学的分析（1）	理念の役割、文化の役割、価値観の共有
第8	社会学的分析（2）	人間系・社会系のデザイン
第9	工学的分析（1）	企業活動、経営資源と競争優位
第10	工学的分析（2）	分業の構造、情報の流れ
第11	心理学的分析（1）	情報の価値に関する考察
第12	心理学的分析（2）	情報化が引き起こすパラドックス
第13	事業システムの創造・変革	連鎖的、試行錯誤的、飛躍のポイント
第14	事業システムの維持・発展	厳しい顧客、内部のゆるみ、競争相手の軽視
第15	まとめ	講義のおさらい

関連科目	
教　科　書	加護野・井上『事業システム戦略』有斐閣、2004年。
参　考　書	適宜、講義で紹介する。
授業評価・理解度	学年末に授業評価アンケートを行う。
備　　考	学生の積極的な授業への参加を期待する。